

令和元年 11月 1日
地域基盤研究機構 地域連携センター
准教授 西川 洋行

平成31年（令和元年）度 県立広島大学地域戦略協働プロジェクト 似島の魅力づくり～魅力の発信～

活動報告

事業の実施内容

似島の活性化は広島市南区の地域振興の課題であり、過疎や観光客の減少により定住人口及び交流人口の減少が大きな問題となっている。似島地区では、コミュニティー交流協議会を組織し、地域おこし協力隊員2名の配置並びに活動拠点施設「ウェルカム似島」の設置を行っており、マスコットキャラクターの作成や記念イベント、交流企画事業等の実施を行ってきた。しかし、認知度の向上や来島者の誘致等の課題は多く、似島振興に向けた取り組みについての情報発信及び似島自体の魅力向上、情報発信等更なる取り組みが求められる状況にある。



ウェルカム似島 (2019.10.29)

新たな取り組みを進めるにあたって、まず観光客等のニーズや来島者の要望を把握することが必要であり、今回（10月29日火曜日）学生2名とともに、似島港にて下船する来島者へのアンケート調査を実施した。

アンケート調査概要

アンケート調査は、書面で回答する方式で、学生たちが下船後上陸する来島者に声を掛け、アンケート調査への協力を快諾してくれた方々から回答を得た。アンケートでの質問内容は、個人プロフィールの他、来島目的、旅程、訪問先、島への要望、不足している（あったらよいと思う）もの等で、島外からの来島者の他、住民やその親戚・知人等も乗船されていることも考慮している。



似島港でのアンケート調査 (2019.10.29)

調査対象は午後の3便（宇品港 ⇒ 似島港）で、一見したところ乗船客の多くは似島の関係者（住民等）のように思われる。全般的に急ぎの方が多く、アンケート調査に協力いただける方は少なかった印象であった。

今後、今回の調査データの分析をすすめ、来島者の絞り込みや観光客の目的や要望にあわせた対策の検討を進める予定である。

アンケート調査中の学生
(2019.10.29)

